昴 Subaru 男声合唱団

ニュース780　‘22.5.23

5月15･20日

新しい「昴」若き指揮者を迎える！ 新入団員歓迎！　日曜団員･友の会発足！！

□１３回コンサートが、コロナ感染もなく、無事成功裏に終え、新しい指揮者を迎え、新しい体制で、昴は動き出しました。５月のレッスンは、５月６日(金)（既報）、５月１５日(日)１４：００～１７：００、５月２０日(金)１８：００～２０：３０と３回続きましたが、やや「燃え尽き症候群？」もあったか、欠席者もやや多く、しかし、新しい体制に向けて、昴は動き出しました。

□５月１５日(日)　１４：００～１７：００　ねむかホール　指揮：本並、伊藤　ピアノ：森二三
レッスン曲目：「種子」、（千秋コンサート発表曲）「いのちの歌」「昴」
（友の会　会員曲）：「川の流れのように」「キエフの鳥の歌」「昴」
当日の参加者は、全２２名、団員１７名（Ｔ１：４名、Ｔ２：５名、ＢＲ：４名、ＢＳ：４名）
日曜団員：３名

□５月２０日(金)　１８：００～２０：３０　ねむかホール　指揮：本並、伊藤　ピアノ：森二三
レッスン曲目：新曲：「種子」「ワクワク」の２曲の譜読みレッスンをしました。
（千秋コンサート発表曲）「いのちの歌」「昴」
当日の参加者は、全２５名、団員２３名（Ｔ１：８名、Ｔ２：６名、ＢＲ：５名、ＢＳ：４名）

□昴は新しい指揮者を迎えて、動き出しました！(新指揮者就任！！)

坂井威文（さかい　たかふみ）さん

本並先生の体調不良もあり、「次回コンサートは無理である」との申し出がありました。本並先生の推薦もあり、新しい指揮者を迎えて昴は進もうということで、１５日(日)の運営委員会での賛成のもと、１８日(金)１５：００～１６：３０に、本並指揮者・団長・副団長・各部長出席し、ねむかホールにてご本人と面談しました。ご本人の経歴をふまえ、現在の活動状況と昴の現状、指揮・運営体制・処遇等での調整等、詳細な面談となり、採用・着任に不都合なし、ということで、昴として正式に指揮者就任を要請しました。ご本人も、快諾され、６月３日(金)のレッスンから参加されます。

坂井威文です

以下が簡単なプロフィールです。

１９８８年、堺市に生まれる。大阪府立泉陽高校入学後に同校音楽部で合唱を始め、近畿大学文化会グリークラブで３年間学生指揮者を務めた。
大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻（副専攻：音楽指導者プログラム）卒業。大阪音楽大学大学院音楽学研究室修了。在学中、大学より２度にわたり給付奨学金を授与される。大学卒業時に優秀賞受賞。
ＪＣＤＡユース合唱団やＪＣＡユースクワイアなどにも参加し、合唱音楽の研鑽を積む。これまでの活動を通した、多様性のある合唱指揮者を目指している。
堺市役所うたごえサークルら・ら・ら、Blue☆Sky、女声合唱 結、ワインコーラス、とよのうたごえサークルこぶしの各団体を指揮・指導。Chor.Draft 団員。合唱集団ＤＣＰ同人。大阪府合唱連盟主事。関西合唱連盟主事。堺市民芸術文化ホール「フェニーチェ堺」の愛称考案者。
-----プロフィールにもある通り、１度目の大学生活では男声合唱（グリークラブ）の学生指揮をしておりました。先日の「ウボイ」は歌った思い出もあり、懐かしく聞くことができました。

うたごえとの関わりは近大を出たあとに始まります。高校の先輩で作曲家の石若雅弥先生のアシスタントとして指導を始め、大阪の協議会の会長をされた西さんの奥さまなど色々な方にお世話になりました。
その後、さらに音楽に携わりたいと音大に進学しました。学部卒業がちょうど 2020 年の春。大学院も修了しましたが、その後、(コロナの影響で)状況はあまり好転していないのが現状です。
また一度ぜひ練習にお邪魔させてください。よろしくお願いします。(2022 年 4 月 29 日発信)
(注)　坂井さんとは５月６日(金)の昴レッスンで、「いのちの歌」で指揮・レッスンをしています。

□新しい昴のメンバー・団員が加入されました。
正団員：米田　剛さん、日曜団員は石野哲三さん、商智明さんのお二人。

正団員
米田　剛さん：Ｔ２、５８歳　旭区在住、日用品自営業、合唱経験有：男声合唱５年、
趣味：野球・ソフト

日曜団員（自己紹介の件：メールにて）
石野哲男さん
昴　立川様　先日は、とても有意義な昴見学でした。
皆様から、快く受け入れていただけるか⁉私の実力では、足を引っ張る事に⁉と不安を抱き、訪問させて頂きました。
しかし、快く受け入れてくださっ事が何より嬉しく、練習も不安ながら気持ちよく参加する事ができた次第です。

さて、個人的な紹介となりますが、合唱への興味のきっかけは、もともと歌う事（カラオケや鼻歌）が好きでした。そんなとき、家内が突然友人達と第九合唱に参加することになり、その練習会場までの運転手で付き合いました。
終了まで待つのも馬鹿らしいので、どうせなら参加しようと思い立ちその場で申し込みました。

ドイツ語？とても難しい!歌えるわけがない‼と感じたものの指導者から、一度の参加で完璧は無理！しかし歌える部分が少しでも出来たらきっと来年も歌いたくなるよ❣との助言。
無事、第九合唱が終了した時、絵も言われぬ、満足感、感動、興奮が襲ってきました。
それが七年前の 12 月。それからは、混声合唱団に入り、先輩方と練習があるたび、早く追いつきたいとの欲望から四つの団に入団し、練習に明け暮れました。
もちろん第九合唱は毎年、1 年間を通して、約 6 回くらい彼方此方の団に参加いたしました。
それまでは汗を流す、運動中心でしたが、少し文化的な趣味というよりライフワークに出会った次第です。
今後とも宜しくお願いいたします。
長文ですが、適当に端折って下さい。

追伸　今は、高石市のアプラフィルハーモニー合唱団（混声）、高石市民音楽団　絆（混声）、男性合唱団　ハイストーン（高石市）の 3 団。
第九合唱は地方自治体、泉佐野市、泉南市、阪南市、大東市、その他守山俊吾先生の各公演への参加です。
ついでに、野鳥の探鳥にはまり、練習がなく、仕事がない日は、近くの丘陵地帯や野山、溜池等をカメラを下げ、散策しています。

日曜団員の商(しょう)さんの「入団にあたって」です

『昴』男声合唱団　**立川様** ♪♪

何をしても全て中途半端ですが、現役中から６０歳過ぎ迄
老後の備えとボケ防止として合唱団にも入ってましたが、
２０年ぶりに合唱団「昴」と出会い、日曜新入団員として、5月初めての練習に参加。(^^♪
厳しくはないが、かなりのレベルでついていけるかな~？
久しぶりに腹の底から声を出し、人当たりの良い年齢も近い方々と共に
楽しいひと時を有難う御座いました。　TOMOAKI　SYOU

差出人: syou tomoaki　　送信日時: 2022 年 5 月 16 日 1:21

〇連絡事項

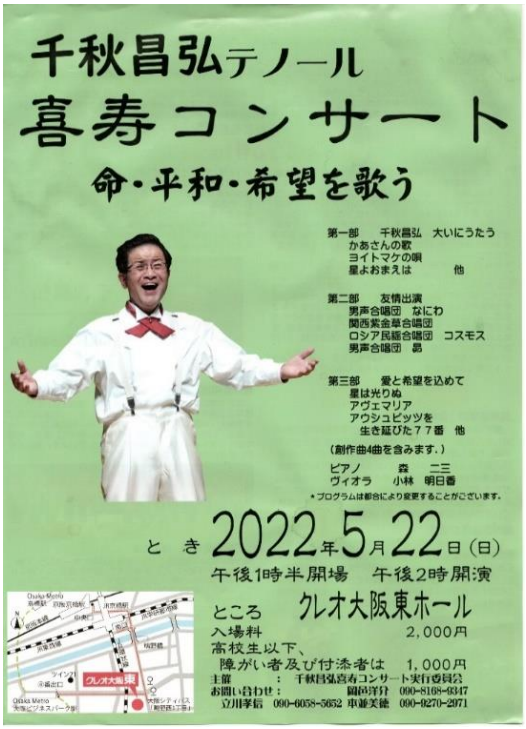
（１）５月２９日(定例レッスン日)　レッスン後、「本並先生ご苦労様、新指揮者歓迎の会」を開催します。

本並先生は、体調の都合から、５月をもって、指揮者を退任されます。２２年間お疲れさまでした。
今後は、不定期に指揮も行い、昴の貴重なパートメンバーとして、歌い手に廻られます。
当日１４：００～１５：００まで、レッスンを行い、１５時から１７時まで、本並先生の慰労会と坂井さんの新就任歓迎会、１３コンサートの反省会・慰労会を兼ねて、楽しく懇親したいと思います。よろしくご出席ください。

（２）２０２２合唱発表会日程と発表曲について

・２０２２年大阪南部地区合唱発表会が７月２４日(日)に開催されます。(鶴見区民センター)
　発表曲：「いのちの歌」(３分３０秒)　「地雷ではなく花をください」(２分３０秒)
　（なお、大阪合発(LIC おおさか)：９月１１日(日)、日うた合唱発表会(名古屋)：１２月２日～４日向けの発表曲は、この２曲にこだわらず、新指揮者のもとで、改めて検討されます。）
・創作合唱発表会：９月１９日

□「千秋昌弘喜寿テノールコンサート」が５月２２日(日)クレオ大阪東ホールで開催されました。当日「昴」はプログラム第二部の「友情出演」で出演し、「いのちの歌」「昴」を熱唱しました。参加者は２３名(Ｔ１：８名、Ｔ２：５名、ＢＲ：４名、ＢＳ：４名)でした。音楽的にも、声楽の上でも、大きく深い感動を聴く人々に呼び起こした「千秋コンサート」は、後日正式に講評者から「講評」があり、「うたごえ新聞」等に掲載される予定です。



Program

第一部　千秋昌弘　大いにうたう

沖揚げ音頭(ソーラン節)	日本民謡
奪われた友の命	千秋昌弘詞/森　二三曲
ヒロシマ、母の怒り語りつぐ	千秋昌弘詞/森　二三曲
星よおまえは	荒木栄詞・曲/中勝征史編曲
かあさんの歌	窪田　聡詞・曲/森　二三編曲
わが母のうた	森田ヤエ子詞/荒木栄曲/寺原伸夫編曲
ヨイトマケの唄	美輪明宏詞・曲/森　二三編曲

休　憩

第二部　千秋昌弘ゆかりの合唱団

春の小川・朧月夜・鯉のぼり・波浮の港	男声合唱団　なにわ
知床旅情	関西紫金草合唱団
チャイカ・百万本のバラ	ロシア民謡合唱団コスモス
いのちの歌・昴	男声合唱団　昴

休　憩

第三部　愛と希望を込めて

星は光りぬ	プッチーニ　曲
アウシュヴィッツを生き延びた77番	千秋昌弘詞/森　二三曲
命のビザ(童謡)	千秋昌弘詞/森　二三曲
アヴェマリア	シューベルト曲
オソレミオ	カプア曲
キエフの鳥の歌	ウクライナ民謡/木内宏治訳詞/森二三編曲
終わりの始まり(ノーモア・ヒバクシャ)	千秋昌弘詞/森　二三

司　会　近藤真澄
舞台監督　溝口陸遠

□第 13 回コンサートの寄せられた感想　(メールと手紙でいただいたもの)　寺脇さん(T2)より

＊コンサートは楽しめ、励まされました。歌うことは肺機能を強くするのでしょうね。
皆様も元気そうに見受けられ感心しました。コロナのためにお見送りもなく声掛けもできずに残念でしたが、次回も是非お誘いください。

＊こちらこそ元気をもらいました。(中略)昴の皆さんは平均年齢か高くなったというけれど、歌声が弱くなったとは思いませんでした。柔らかくて揃っているなという、第一印象でした。
重厚な歌声も聴きたいと思ったのですがやはり人数も関係しますね。コロナの中よく演奏会をしてくださいました。これからも元気で歌い続けましょう。🎶♪🎻

＊ご成功おめでとうございます。1部も2部も3部もそれぞれとても良かったです。
若くない皆さん、本当に頑張られたと思います。お疲れさまでした。
観客におもねらないで伝えたいことをきちんと伝えようとされたのが、しっかり届いたのだと思います。　歌い手の思いがきちんと一つにまとまっていたのだと思います。

＊皆さんの個々の実力に感心しながら、なつかしい“ウボイ”などお手の物等、ハーモニーに酔わせてもらいました。あれだけ多くのファンを持っておられるのに感服です。

＊(前段省略)
一言でとても元気をもらいました。確かに年齢が上がり、かってのような迫力は薄らいでいましたが、充分気持ちは伝わってきました。
特にロシア民謡 2 曲とウクライナ民謡はとても感動しました。ロシア民謡が大好きで、“うたう会”に惹きつけられた私としては、プーチンのウクライナ侵略は許しがたく、世界中の人々に、すばらしいロシア文化を否定させる機運を高めたこともとても許しがたく感じていました。二曲のロシア民謡は文句なしに私の心の琴線に触れました。ウクライナ民謡の「キエフの朝の鳥」は、2019 年タリンの音楽祭にうたごえの人々と訪問した時、タリンの街中で耳にし、その曲をよく知らなかった私は演奏している青年に「ロシア民謡ですね」というと思いがけず、キッと睨み返され、「これはウクライナ民謡だ」と言われました。後で、それが「キエフの朝の鳥」だと知りましたが、ウクライナの青年が演奏していたバンドゥーラともども忘れがたい曲でした。
先日、NHK・BS のクラシック音楽観を見て(聞いて)いましたところ、“ロシアのウクライナ侵攻という情勢の中で、ロシア音楽をどうとらえるか”というような特集で、とても感動的な番組でした。結論からいえば、芸術は政治で判断することなく、心打つものは取り上げていかねばならないし、ロシア人だからということで排斥するのではなく、苦悩する音楽家達は援助しければいけないというものでした。
その中で、ドイツに避難したウクライナの音楽家が“今”を作曲したものとか、そのウクライナの作曲家の曲を警官に脅されても演奏し続けるロシアの音楽家とかの映像が映っていました。こういう人々がいる限り「必ず平和は勝つ」(音楽家の誰かが言ったそうな)とやっと信ずることができました。(実は、コロナではまったく感じなかったのですが、今度の件では心ふさぎ、未来への不安にさいなまれていました。)
とても素晴らしいコンサートありがとう。(以下省略)